社員5〜50名の会社のSlackの導入と運用

社内と社外の連絡を、Slackで流れて消えない形にする。

ワークスペースとチャンネルの設計、通知の設定、ChatworkやLINE WORKS・メールからの移行から、散らかったワークスペースの整理、
ワークフローと業務システムとの連携、権限・ゲスト・Slackコネクト・アプリの承認の管理まで、Nexlyがまとめて引き受けます。



Nexly　株式会社Nexly　サービス資料

こんなお悩みはありませんか

散らかった連絡を、決まった場所に寄せます

- ✓ 無料で入れてみたが、チャンネルが増えすぎて、どこに何を書けばいいか分からなくなった
- ✓ 通知がうるさくて切ってしまった人と、通知が来なくて見落とす人が混ざっている
- ✓ 社内の連絡がChatworkとメールとLINEに分かれていて、決まったことがどこにあるか追えない
- ✓ 取引先や外注さんとのやり取りを、Slackにどうつなげばいいか分からない
- ✓ 問い合わせフォームやkintone、サーバー監視の通知をSlackに集めたいが、どこまで自分でできるか分からない
- ✓ 辞めた人のアカウントや、誰が入れたか分からないアプリ、期限のないゲストが残ったままになっている

NexlyのSlack導入は、作るワークフローの本数で金額が決まる3つの定額です。
いまの連絡の棚卸しからワークスペースの設計、移行、連携、作ったあとの管理まで、同じ担当が見ます。

NexlyのSlack導入の特徴

決めて、つないで、散らからない形にします

特徴 1

作る前に、いまの連絡を1枚の表にして、チャンネルの決まりを決めます

誰が、誰に、何を、いまどこで伝えているかを並べ、どのチャンネルに載せるか、名前の付け方、公開の範囲、書き込める人、通知の既定を決めます。Slackに載せないほうがいい仕事もここで分け、金額もここで確定します。

特徴 2

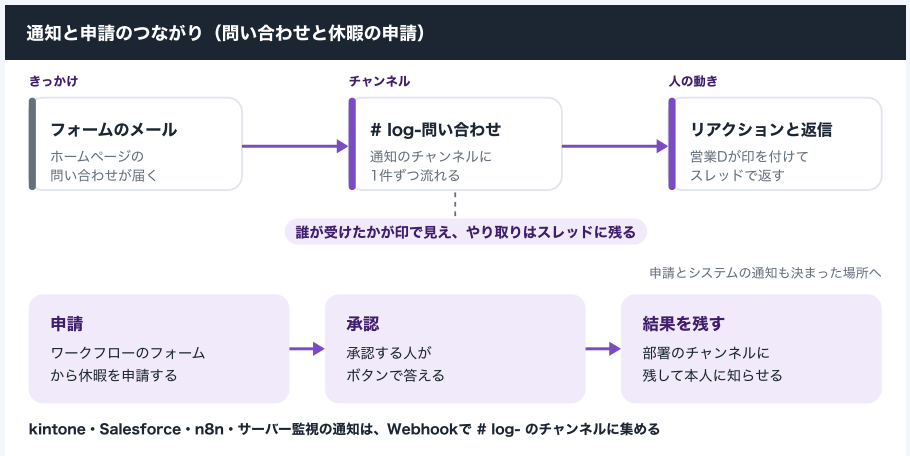
通知と依頼とワークフローを、流れて消えない形でつなぎます

問い合わせフォームのメールは通知のチャンネルに流し、担当がリアクションを付けてスレッドで返す。申請はワークフローのフォームから出し、承認の結果をチャンネルに残す。kintoneやn8n、サーバー監視の通知はWebhookで決まった場所に集めます。

特徴 3

社外とのつなぎ方と、管理の決まりまで渡します

取引先とはSlackコネクト、外注さんは期限付きのゲストでつなぎます。2段階認証の必須化、アプリの承認制、退職と担当替えのときの手順、チャンネルの棚卸しの周期を決め、社内向けの運用ルールにしてお渡しします。





設計の例

最初にお渡しするのは、チャンネルの決まりの表です

チャンネルの決まり（作り始める前に決める表の例）

種類	名前の頭	例	公開の範囲	書き込める人	通知の既定
お知らせ	notice-	#notice-全社	パブリック	代表・総務	すべて
部署	team-	#team-design	パブリック	部署の全員	メンション
案件	pj-	#pj-a社-サイト改修	プライベート	担当の全員	すべて
取引先	ext-	#ext-a社	Slackコネクト	両社の担当	すべて
質問の窓口	ask-	#ask-総務	パブリック	全員	メンション
自動の通知	log-	#log-問い合わせ	パブリック	アプリだけ	担当だけ

Slackに載せない仕事（案件の台帳・長く残す記録・厳しい承認）も、この表で分けておく

無料相談のあと、いまの連絡の流れと使っているツールを伺って、この表と、ワークフローと連携の組み方の方針をまとめてお出しします。

プランと金額は、この段階で確定します。表のとおりに作るので、作り始めてから金額が膨らむことはありません。

チャンネルもワークフローも連携も、すべて貴社のワークスペースの中に作るので、作ったものはすべて貴社のものです。

見本のWeb制作会社のワークスペース

コラムの例は、この見本のWeb制作会社（社員20名・プロプラン）の設定で通しています

お知らせ セクション	部署 セクション	案件 セクション	取引先 セクション	通知 セクション
# notice-全社	# team-design	# pj-a社-サイト改修	# ext-a社	# log-問い合わせ
# ask-総務	# team-dev	# pj-b社-新規制作	# ext-b社	# log-サーバー監視
	# team-営業			

チャンネルの命名・通知・移行・Slackコネクト・ワークフロー・Webhookの通知を、記事ごとに作り足している

料金

作るワークフローの本数で決まる3つの定額です

	小さく始める	連絡をSlackに寄せる	業務までつなぐ
料金	**15**万円	**40**万円	**80**万円
使い始めるまで	2週間	**4週間**	8週間
いまの連絡の棚卸しと設計（どの連絡を・どのチャンネルで・誰が書くか）	○	○	○
ワークスペースの初期設定（権限・通知の既定・サイドバーのセクション）	○	○	○
作るワークフロー	3本	**8本**	15本
チャンネルの命名の決まりと、社内向けの運用ルール	○	○	○
Googleカレンダー・Googleドライブなどのアプリの導入	○	○	○
Chatwork・LINE WORKS・メールからの移行と並行期間の段取り	–	○	○
いまのワークスペースの整理（チャンネルの棚卸し・アーカイブ・名前のそろえ直し）	–	○	○
Slackコネクト・ゲストでの社外とのつなぎ方	–	○	○
承認のワークフローと、申請の結果の残し方	–	○	○
kintone・Salesforce・n8n・Webhookでの業務システムとの連携	–	**–**	○
管理とセキュリティの決まり（2段階認証・アプリの承認・退職と担当替えの手順）	–	**–**	○
社内への説明会	1回	**2回**	3回

金額はすべて税別です。Slackの利用料は、貴社からSlackへ直接お支払いいただきます。ワークフロービルダー・ゲスト・Slackコネクトのチャンネルは有料プランの機能で、分岐のあるワークフローはビジネスプラス以上で使えます（2026年10月時点）。どのプランが要るかは設計のときに一緒に決め、プロプランで済む形を先に考えます。内容がプランに合わないときは、近いプランから増減してお見積りします。

作ったあとの月額と点検

管理と直しを、毎月の枠で受けます

	月額	内容
管理おまかせ	**1.5**万円	入社と退職のときのメンバーの追加と解除、ゲストの期限の確認、アプリの追加のリクエストへの対応、ワークフローと連携が止まっていないかの確認、Slack側の仕様変更への追従、月1回の報告。新しいワークフローの追加は含みません
改善と運用	**5**万円	管理おまかせの内容に加えて、ワークフローや連携の直しや追加を月2件、月1回の打ち合わせでチャンネルの使われ方を一緒に見ます
聞ける	**2.5**万円	自分で運用する人向け。月5問までの質問への回答と、月1回30分の画面共有での相談
点検	**8**万円	1週間。いまのワークスペースを全部見て、使われていないチャンネル、名前の付け方がばらばらなチャンネル、期限のないゲスト、つながったままの社外の組織、誰が入れたか分からないアプリ、辞めた人が作ったワークフローやWebhook、2段階認証の設定を一覧にし、整理の順番と金額を報告書にまとめます。そのまま構築を頼まれた場合は、構築の料金から差し引きます

自分で運用したい

「聞ける」で、詰まったところだけ質問できます。設定の手順はWebのコラムにも、見本のWeb制作会社の例でまとめています。

整えてほしい

構築のプランで作り、そのあとは管理おまかせか、改善と運用で見ます。

いまのワークスペースを片付けたい

点検で全体を見てから、直す順番と金額をお出しします。

流れ・担当者・会社概要

ご相談から運用まで、代表の大林が担当します

1 無料相談

オンラインで30分ほど、いまの連絡の流れと、使っているワークスペースがあればその画面を一緒に見ます。

2 棚卸しと設計

連絡とチャンネルとワークフローを1枚の表にし、プランと金額を確定します。

3 構築と移行

ワークスペースの設定とチャンネル、ワークフローや連携を作り、並行期間を決めて前のツールから切り替えます。

4 説明会と使い始め

社員の方に使い方と運用ルールをご説明し、最初の2週間はチャンネルと通知の使われ方を見て直します。

5 運用

メンバーの追加と解除、ゲストの期限、アプリの追加、業務の変化に合わせた直しや追加を月額で受けます。

大林

株式会社Nexly 代表取締役

大林 諒

Web制作会社で8年間、カスタマーサポートと社内システムの部署で部長として約500社のサイト制作と、社内の顧客管理システムの開発・導入を取りまとめてきました。グループ会社3社のマーケティングの責任者として、社内の仕組みも担当してきました。

2024年にNexlyを設立し、いまは中小企業のSlack・Google Workspace・kintone・n8nの構築を支援しています。作ったあとに散らからず続く形にするところに一番力を入れています。

会社名	株式会社Nexly
設立	2024年5月
所在地	〒664-0873 兵庫県伊丹市野間8丁目4-11-2
事業	Slack・Google Workspace・kintone・Salesforce・LINE・n8n・Power Automateの構築と運用、GA4・GTMの計測と広告運用、人材紹介

まずは30分、無料でご相談ください

nexly.co.jp/contact/ からお申し込みいただけます。
まだSlackを入れていない段階でも、入れたまま散らかっている状態でもかまいません。

よくあるご質問

契約の前に、よく聞かれることです

フリープランのままでも頼めますか。

ご相談はフリーのままでも受けます。ただしフリーは見られるメッセージとファイルの履歴が90日間で、1年を過ぎたものは削除されます。ワークフロービルダーやゲスト、Slackコネクトのチャンネルも有料プランの機能です（2026年10月時点）。会社の連絡の土台にするなら、プロプラン以上をおすすめしています。

ChatworkやLINE WORKS、メールから移れますか。

いまのグループやメーリングリストとSlackのチャンネルの対応表を作り、並行期間と切り替えの日を決めて移ります。過去のやり取りは、移す元のサービスの書き出しの機能と量を見てから、Slackに持ち込むか、元のサービスに残して見に行く形にするかを決めます。

TeamsやkintoneとどちらがいいですかⅠ

社内と社外の連絡、通知、軽い依頼はSlackが向きます。案件の台帳や長く残す記録、厳しい承認や監査が要る申請は、kintoneや専用のシステムのほうが向きます。仕事ごとに向き不向きをお伝えし、Slackに載せないほうがいいものは載せずに、通知だけをSlackに届けるつなぎ方をご提案します。

取引先や外注さんともSlackでやり取りできますか。

はい。取引先の組織とはSlackコネクトでチャンネルを共有し、外注のフリーランスの方はゲストとして必要なチャンネルにだけ招待します。どちらも有料プランの機能です。シングルチャンネルゲストは、有料のアクティブなメンバー1人につき5人まで料金がかかりません（2026年10月時点）。

作ったものは誰のものですか。

チャンネルもワークフローも連携も、すべて貴社のワークスペースの中に作るので貴社のものです。契約が終わってもそのまま使えます。プライマリーオーナーは貴社の代表か総務の方に持っていただきます。

打ち合わせは対面ですか。

オンラインで進めます。画面を共有しながら、実際のワークスペースでチャンネルやワークフローの動きを見て確かめていただきます。